

広島工大同窓会会報

第 35 号

発行 広島工業大学同窓会

編集 同窓会編集委員会

731-5193 広島市佐伯区三宅2丁目1-1

広島工業大学内

TEL082-921-3121 (内線)570

E-mail: dosokai@jim.it-hiroshima.ac.jp

U R L: http://www.jim.it-hiroshima.ac.jp/dosokai/



就任ご挨拶

同窓会会長

横山 健次

同窓生の皆様、お元気でご活躍の事と、お慶び申し上げます。

私は、去る4月21日、広島工業大学同窓会第36回総会に於て、第四代会長を拝命致しました、昭和44年建築学科卒業の横山と申します。幹事、役員を始め会員の皆様の御協力を賜りながら、同窓会の発展の為、微力ではありますが精一杯努めさせて戴きますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、私達広島工業大学卒業生は、29545名にも膨らみ、国内はもとより海外でも活躍して居られます。

これまで、初代中原重男氏、第二代永見憲吾氏、第三代道田憲治氏と伝統を継承しつつ同窓会も今日ある姿に基盤を築きあげてこられました。

同窓会組織の充実、同窓会誌会報の発行、同窓会会員名簿の発行、電算化、支部結成の奨励、援助、母校と同窓会の協力体制の確立等々、それぞれそれなりの成果は見られ、過去のおかげで今日は存在して居ります。又広島工業大学は真面目な教育実績と卒業生の努力、奉仕のおかげで社会の高い評価となって現われて居りますが、しかし、少子化の進む現状の中で、大学のレベルを維持する為に、

学生数の減少も考慮に入れてこれからの将来を見つめなければなりません。

その為、本年新しく同窓会の将来を考える為に4人の副会長を中心に4つのプロジェクトをつくり、会則や財務、各種事業や総会のあり方等々具体的に検討することと致しました。1年間協議を重ね、同窓会会員にとって意義ある組織、参加したくなる魅力ある組織を模索して行くつもりです。会員の皆様からのご意見も事務局へ送っていただければ幸いです。

今、時代の流れの中で広島工業大学も変わろうとして居ります。しかし、私達の学んだ建学の精神「教育は愛なり」教育方針「常に神と共に歩み社会に奉仕する」は決して変わることはないと感じて居ります。

同窓生の皆さん、広島工業大学の卒業生であることに誇りを持って、大いに社会へ奉仕しようではありませんか。そうした会員一人一人の成功が大学の評価を高め、大学の発展に貢献できると確信致します。

皆様方のご活躍を心よりご祈念申し上げます、就任のご挨拶とさせていただきます。

又同窓会でお会い致しましょう。



第36回定期総会の報告

広島工業大学同窓会 前幹事長 菅原 辰幸

平成13年度広島工業大学同窓会総会が、4月21日土曜日、メルパルク広島を会場として開催されました。

総会は、道田会長の挨拶で始まり、菅原幹事長の司会により議長に(株)中電工の長谷川光夫氏が選出され、次第に則り議案が審議されました。議案は、平成12年度活動報告、平成12年度会計報告、会計監査報告、会則改正、平成13年度役員選出、平成13年度活動方針案、平成13年度予算案の順に審議されました。



会則改正では、副会長の人数を4名から若干名に変更されました。

また、役員改選において、新会長に横山健次氏がそして、4名の副会長、鈴木幹事長等が選出され、副幹事長の空席は幹事会一任として承認されました。その他平成13年度の役員は別記のとおりです。

総会後の懇親会には、母校より学長先生他多数の先生方のご参加をいただき、久しぶりに鶴理事長先生にもご参加いただきました。懇親会は中田敬司氏の司会のもと、自治会・体育会・少林寺拳法部・グリークラブなど、在学学生多数の参加もいただき、アトラクションや工大クイズと大変盛況でした。

総会に先立ち、支部長会議が開催され、支部の近況報告や悩みなど意見の交換が行われました。会員の把握や若い会員の参加促進方法について、Eメールを活用した議事録等情報の提供についてなどが論議されました。

第36回 広島工業大学同窓会 懇親会



平成13年度同窓会役員

支部欄…地域支部代表者

Table listing the 2001 (Heisei 13) Alumni Association Officers and Members, including names, graduation years, departments, and regional branch representatives.

平成12年度同窓会会計報告

収支決算
平成12年度総収入 24,477,807
平成12年度総支出 △21,024,164
残高 3,453,643

収入の部
平成11年度繰越金 4,423,951
入会金 3,708,000
終身会費 15,822,000
総会会費 445,000
預金利息 27,386
雑収入 51,470
合計 24,477,807

支出の部
印刷製本費 2,310,000
会合費 1,127,415
支部費 859,000
助成費 708,000
卒業記念品代 463,500
通信運搬費 5,652,435
消耗品費 1,001,033
旅費交通費 1,395,640
役員手当 30,000
委託費 1,470,642
保守費 0
福利費 12,419
慶弔費 63,000
賃借料 47,500
備品費 0
雑支出 41,580
同窓会基金繰入金 2,000,000
奨学基金繰入金 1,542,000
記念事業準備金繰入金 2,000,000
予備費 300,000
合計 21,024,164

基金の部
平成11年度繰越金 145,579,017
同窓会基金繰入金 2,000,000
記念事業準備金繰入金 2,000,000
預金利息 690,932
合計 150,269,949

〈奨学金の部〉

基金 23,750,354
奨学基金繰入金 900,000
助成費剰余金 642,000
預金利息 106,532
奨学金 △900,000
寄付金 867,390
合計 25,366,276

平成13年度予算

収入の部
平成12年度繰越金 3,453,643
入会金 3,690,000
終身会費 15,228,000
総会会費 500,000
預金利息 30,000
雑収入 750,000
合計 23,651,643

支出の部
印刷製本費 5,000,000
会合費 1,400,000
支部費 1,000,000
助成費 1,300,000
卒業記念品代 500,000
通信運搬費 6,300,000
消耗品費 1,200,000
旅費交通費 1,600,000
役員手当 40,000
委託費 1,600,000
保守費 100,000
福利費 30,000
慶弔費 150,000
賃借料 50,000
備品費 100,000
雑支出 50,000
同窓会基金繰入金 1,000,000
奨学基金繰入金 900,000
記念事業準備金繰入金 1,000,000
予備費 331,643
合計 23,651,643

工大 Spirit

近況報告 1

岩国市経済部錦帯橋建設事務所 所長
(昭和45年建築学科卒業) 田原 亮治

“名勝”「錦帯橋」—平成の架け替え— 2001~2003



錦帯橋創建

錦帯橋は今から328年前の1673(延宝元)年、第三代岩国藩主吉川広嘉公によって創建された。岩国藩では、初代藩主広家公以来、城下町を二分する錦川に幾度となく架橋を試みているが、城門橋としての役目を持つ橋は、支持柱のある普通の木橋であったため、洪水が発生するたびごとく流失し、流れない橋を架けることは岩国藩三代を通じての宿願であった。

錦帯桥架橋の構想から十数年の準備を経て、1673年6月28日に土台鉄初めの式(現在の起工式)を行い、その年の9月30日に完成した。着手から完成までわずか3ヶ月という驚くべき期間で創りあげている。

苦勞して創られた錦帯橋は、創建翌年の1674(延宝2)年5月の梅雨の大雨によってあえなく流失したが、広嘉公の再建への決断は早く、流失の原因を徹底的に究明し、洪水が収まるのを待って同年6月に着手し10月末竣工された。その後、1950(昭和25)年9月14日洪水にて落橋流失。実に276年目の事であった。1951(昭和26)年再建に着手、1953(昭和28)年完工式が挙行され、現在に至る。



平成の架け替え

- ①第一期工事 平成13年11月1日から平成14年4月30日まで(第3橋)
 - ②第二期工事 平成14年11月1日から平成15年4月30日まで(第4・5橋)
 - ③第三期工事 平成15年11月1日から平成16年3月30日まで(第1・2橋)
- 各工期とも、11月から12月にかけて迂回路及び支保工の設置を行い、年内に現橋の解体、年明けから3月末までに架橋を行う。(岩国側が第1橋) 解体・架橋期間中は、下図のとおり迂回路を通行して頂くことになるが、普段経験することのできない目線から、現橋の解体、架橋作業を見学しながら渡橋することができる。

下河原駐車場

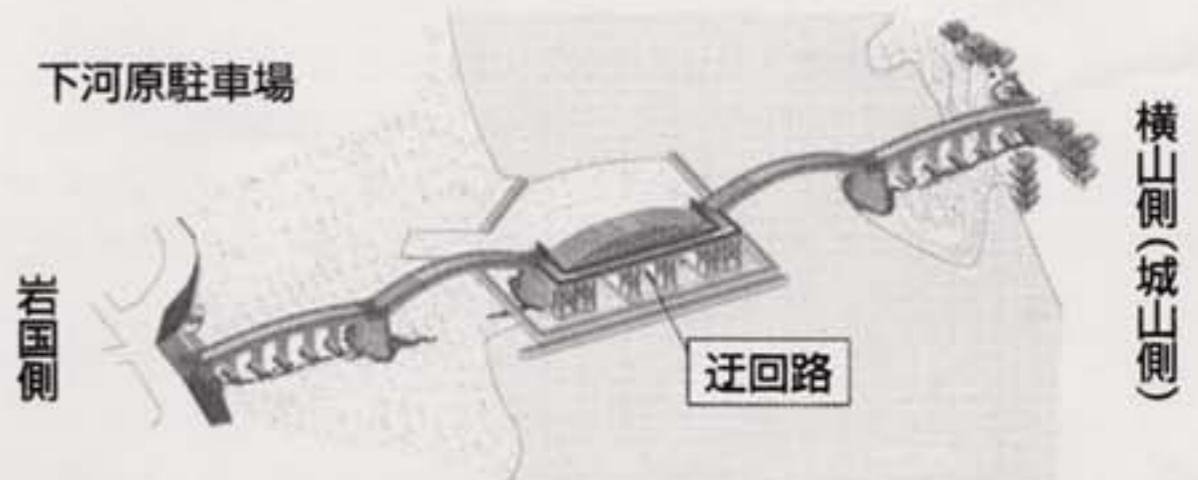


図-1 迂回路設置図

図-1は、第一期工事の迂回路設置図であるが、二期、三期工事においても工事部分を迂回する通路を設置する。

この度の工事は約半世紀ぶりの架け替えとなり、今後も50年ごとに行われると思われることから、この機会に是非とも見学されることをお勧めしたい。

また、工事期間中(平成13年11月から平成16年3月末まで)は、インターネット上で錦帯橋をライブ中継するため、架け替えの状況をリアルタイムでご覧頂けるようH・Pでの情報提供を行う。

※岩国市観光課アドレス <http://www.urban.ne.jp/home/iwakunic/>

工大 Spirit

近況報告 2

廿日市市議会議員
(昭和56年経営工学科卒業) 香川 誠二



広島工大を卒業して早いもので20年にもなります。今だに脳裏には学生時代の沢山の思い出が濃厚に残っています。

思い返せば子供から大人へ飛躍する人生の時でした…。

—将来を発見—

・昭和46年、工大推薦入学を目指し、広島工業大学附属工業高校、電気科に入学する。

- ・高校時代に、子供の頃からの夢だったサイクリングの旅で単独、九州一周、日本最北端宗谷岬まで日本縦断を達成する。
 - ・広島工大進学が決まり読売新聞奨学金を受ける。
 - ・1回生、昭和49年広島工大、経営工学科に入学する。第10期サイクリング部に入部する。
 - ・2回生、留年。
 - ・3回生、サイクリング部主将を努め、部訓に“挑戦”を掲げる。
 - ・4回生、留年。中退を考え公務員試験を受けるも失敗する。体育会執行部に入り、広島県大学体育連盟理事長を努める。
 - ・5回生、友の誘いで身体障害者のボランティア活動に参加する。このことが自分自身の将来を決める足掛かりとなる。昭和54年3月20日結婚、5日後に留年通知届く。
 - ・6回生、留年。
- 西中国キリスト教社会福祉事業団、特別養護老人ホーム清鈴園に就職し、老人

福祉の道へ進む。

長男誕生。翌日、品質管理試験用紙に喜びを報告する。

・7回生、卒業式に親子3人で出席し今では笑い話となる。

—苦楽が人生の支え—

広島工大入学を目指し卒業するまでの10年間は、学業だけでなく色々な体験を心身で学ぶ場となりました。その一つ一つを乗り越えて来れたのは、多くの恩師、友人が助け励まし、支えて下さったおかげだと感謝しています。今になってみれば留年3回は余計な寄り道でしたが、私にとっては人生を選択する上で、貴重な体験を与えてくれました。また、この時に体験した苦楽を仕事に生かすことができ、人生の支えとなっています。そして、広島工大の教育方針「常に神と共に歩み社会に奉仕する」ことが私自身の人生と言っても過言ではありません。

—人生の宝もの—

私は、今年2月に21年間務めた老人福祉施設を退職し、生まれ育った地域の福祉向上のために、地元、廿日市市議会議員に立候補することを決意しました。その決意は嵐のごとく全国の広島工大の諸先輩、同窓生の耳に届き、多くの皆さんが応援に駆け付けて下さいました。思いがけない20数年ぶりの再会、遠く鹿児島からの励ましの電話などは、政治という未知の世界に挑戦する私の不安な気持ちを支えてくれ“人生の宝もの”となりました。

これからも私は、常に可能性に夢を持ち、ゆっくりでも自分のペースで“挑戦”し続けたいと思っています。2年前に、学生時代に乗っていた自転車を納屋から引っ張り出し、月に2~3度、体力づくりに近くの山道の峠越えに挑んでいます。途中、店屋の窓ガラスに映る姿が学生時代と重なることを夢見て…。



2000.11 宮島にて

在学生だより

体育会本部長 竹重 稔

私が第26期体育会本部長になってから早くも9ヶ月が経ってしまいました。その間いろいろな行事を我々体育会本部で主催してきました。26期だけで最初に作り上げた行事が、昨年12月に行った「三宅駅伝大会」でした。

この三宅駅伝大会では何もかもが初めての経験だったので、学務部の方々にいろいろとお世話になりました。また、我々の力の無さに天候も手伝って、参加者の皆様には普段の実力を発揮させられなかったことが私には心残りです。

新学期になり新入生も入学し、大学内が活気づいてきたときに行ったのが「第2回スポーツフェスティバル(第40回体育祭)」でした。このスポフェスは、我々体育会の中での一大行事でした。2ヶ月以上前からスポフェス長をはじめ本部員が夜遅くまで準備をしてきました。準備は完璧に近いものでした。

しかし、蓋を開けてみると、またしても天候に邪魔をされてしまった。朝から昼にかけて太陽が顔を出していたのに、あおぞら運動会が始まって約1時間後、突然雨が降り出してしまった。そのため、途中から体育館でやらなければならなかった。最後には用意した賞品も予定より大分余ってしまい、ばらまく形となってしまった。準備不足といえばそうなのですが、雨の日のスケジュールは考えていても、途中からというのは考えていなかった。私たちの中では今回のスポフェスは、大がつくほど失敗に終わった。

何故か私たちが主催する行事の日は、必ずといっていいほどよく雨が降る。8月4、5日に大竹市三倉岳で行った「フレッシュマンセミナー」でも、山登りの前にも雨が降った。しかし、降る量が少量だったためその後のスケジュールに変更はなかった。

もしかしたら、26期本部員の中に雨男がいるのかもしれない。

我々は40人近くの本部員がいます。しかし、本部会や行事に参加するのはこれの半分以下です。半分参加すればいいほうです。その原因の1つとして本部員に最高学年(4年)が少ないということです。中には1年生を出してくる部もあります。まだ大学に慣れていないのに本部員になるのはおかしいことではないだろうか。しかも本部員になれば周りは先輩ばかりで会話するだけでも勇気がいると思う。だから必然的に来なくなる。またやりたくないのに入ってしまった、という人もいると思う。しかしなつたからにはちゃんと責任を持って最後までやってほしい。私は今のままなら、体育会本部というものが今後衰退していくように思える。もう1度体育会の会員が、体育会が何故存在しているのかを真剣に考えたほうが良い様に思います。



広島工業大学同窓会ホームページ 開設1周年!
<http://www.jim.it-hiroshima.ac.jp/dosokai/>



**アクセス件数も
10,000件を突破!**

- 〈人気ページ〉**
- 1.0Bだより
 - 2.連絡先不明者検索
 - 3.リンク集
- 〈オススメページ〉**
- 1.教職員紹介
 - 2.あの人この人
 - 3.いろいろ掲示板♪

**芸予地震、地域の
イベント情報も満載!
リンク先や寄稿記事
も募集中です。
ぜひご覧ください。**

※お問い合わせ先 dosokai@jim.it-hiroshima.ac.jp

同窓会奨学金基金へのご寄付のお願い
同窓会奨学生の財源は、会員の皆様からのご寄付によって賄われております。資金確保のため、ご協力をお願いいたします。要領は下記のとおりです。
金額：1口 1,000円
送付方法：郵便振替（同封の振替用紙をご利用ください。）

広島工業大学経営工学科経工会解散セレモニーの開催予定

東京	会場 東京ガーデンパレス	日時 11月17日(土) 18時~20時
	参加費 7000円(飲食実費)	
大阪	会場 大阪ガーデンパレス	日時 11月18日(日) 18時~20時
	参加費 7000円(飲食実費)	
広島	会場 広島工業大学広島校舎	日時 1月5日(土) 16時~18時
	参加費 7000円(飲食実費)	

参加予定の先生
生島一雄 圓見康夫 小林敏郎 斎藤敏雄 田中宏二 中村佳正 西野達夫 府川幸平
経工会会員の方々には、正式なご案内を9月送付いたします。多数のご参加をお待ちしております。
幹事長 西田弘展

同窓会地域支部情報

島根県支部総会	10月13日(土) 開催予定
山口周南支部総会	10月13日(土) 18:00~ ホテルサンルート徳山に於いて開催予定
徳島県支部総会	10月20日(土) 17:30~ 開催予定
長崎県支部総会	10月27日(土) 18:00~ 出島会館に於いて開催予定
岡山支部総会	11月10日(土) 講演会 15:00~17:00 支部総会 17:30~18:00 懇親会 18:00~20:30 岡山コンベンションホールに於いて開催(岡山駅西口すぐ前) *節目となる第10回総会です。記念講演会も予定しております。仲間を誘ってのご参加をお待ち申し上げます。
愛媛県支部総会	11月10日(土) シャトーテル松山に於いて開催予定

平成13年版同窓会会員名簿発刊のお知らせ

発行予定 平成13年11月
予約価格 1冊 8,000円(送料込み)
申込方法 会員番号(学生番号)、卒業年、学科、氏名、送付先を明記のうえ、同窓会事務局へハガキ、FAX、メールにてお申し込みください。(ホームページからも申し込み可)
支払方法 振込用紙をお送りしますので、郵便局からお振り込みください。名簿はご入金の確認後お送りいたします。

★頒布は同窓会正会員に限らせていただきます。
〈連絡先〉 広島工業大学同窓会事務局
〒731-5193 広島市佐伯区三宅2-1-1 TEL(082)921-3121(内線570)
FAX(082)922-1925 E-mail:dosokai@jim.it-hiroshima.ac.jp

●ご注意ください
ここ数年、本会とは関係のない業者がハガキにより、「広島工業大学同窓会名鑑」等の名称で名簿の発刊案内(販売)や個人データの調査をしているようですのでご注意ください。
同窓会では、名簿を発刊する場合、同窓会誌または会報で案内いたします。